

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年10月10日(2013.10.10)

【公開番号】特開2012-40277(P2012-40277A)

【公開日】平成24年3月1日(2012.3.1)

【年通号数】公開・登録公報2012-009

【出願番号】特願2010-185816(P2010-185816)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月23日(2013.8.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数種の絵柄を循環表示させる循環表示手段と、

前記絵柄の循環表示を開始させるべく操作される開始操作手段と、

役の抽選を行う抽選手段と、

前記絵柄の循環表示を停止させるべく操作される停止操作手段と、

前記役の抽選に当選した当選役と対応する当選絵柄が有効位置に所定の組合せを形成して停止したことに基づいて、入賞成立として遊技者に特典を付与する特典付与手段とを備えた遊技機において、

第1遊技状態よりも遊技者に有利な第2遊技状態に移行させる遊技状態移行手段と、

前記第2遊技状態が終了したことに基づいて、特別特典を付与するか否かの付与判定を実行する複数の判定実行手段と、

前記第2遊技状態が終了したことに基づいて、複数の遊技回によって構成されるとともに所定の補助演出が実行される演出期間を設定する演出期間設定手段と、

前記複数の判定実行手段のいずれかが前記特別特典を付与すると判定した場合、前記演出期間に前記特別特典を付与することを示唆する付与示唆演出を実行する付与示唆演出実行手段と、

前記複数の判定実行手段のいずれかが前記特別特典を付与すると判定した場合、前記演出期間の終了後に前記特別特典を付与する特別特典付与手段とを備え、

前記複数の判定実行手段のうち少なくとも1つを前記第2遊技状態における遊技結果に基づいて前記付与判定を実行する構成とし、前記複数の判定実行手段を、予め定めた特定順序で前記付与判定を順次実行するとともに、先の判定実行手段が前記特別特典を付与しないと判定した場合に次の判定実行手段が前記付与判定を実行する構成とし、前記付与示唆演出実行手段を、前記特別特典を付与すると判定した前記判定実行手段の順序が遅いほど、前記演出期間の遅い遊技回に前記付与示唆演出を実行する構成としたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

所定遊技情報を記憶する所定遊技情報記憶手段と、前記第2遊技状態下で前記役の抽選

結果が特定役当選となった場合、前記所定遊技情報記憶手段に前記所定遊技情報を記憶させるか否かを決定する記憶決定手段と、を備え、前記複数の判定実行手段のうち所定判定実行手段は、前記所定遊技情報記憶手段に前記所定遊技情報が記憶されている場合、前記特別特典を付与すると判定することを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記複数の判定実行手段のうち第 2 所定判定実行手段は、前記第 2 遊技状態における遊技結果と無関係な情報に基づいて、前記特別特典を付与するか否かの付与抽選を実行することを特徴とする請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記第 2 所定判定実行手段は、前記所定判定実行手段が前記特別特典を付与しないと判定した場合に前記付与抽選を実行し、前記付与示唆演出実行手段は、前記所定判定実行手段が前記特別特典を付与すると判定した場合、前記演出期間の第 1 遊技回に前記付与示唆演出を実行し、前記第 2 所定判定実行手段が前記特別特典を付与すると判定した場合、前記演出期間の前記第 1 遊技回よりも後の第 2 遊技回に前記付与示唆演出を実行することを特徴とする請求項 3 に記載の遊技機。